

# 弘前重要文化財

## マップ

弘前城は津軽為信によって築城が計画され、二代藩主信政により完成した。最初は5層建ての天守だったが、雷によって焼失。変形して3層建ての天守(櫓)を造った。これが今の弘前城にあたる。1937年7月29日重要文化財に指定されている。弘前公園の中にはたくさんのお寺があり約15カ所ある。



弘前城

〈天守〉

### 今回行った重要文化財

多くの門が  
史跡になっ  
ている。

青森県立弘前  
工業高校

弘前公園

イオンタウン弘前  
樋の口

苦通り

〈様々なお寺がある〉  
禅林街

弘前市  
役所 前川本館

弘前大学  
医学部附属  
病院

木村産業研究所

昭和7年(1932)に完成した建物。日本で最も早い時期のモダニズム建築で前川國男がはじめて設計して建てた建物。当時のモダニズム建築の特ちょうがよく現われている。令和3年8月2日に重要文化財に指定された。

この人がこの銀行の設計、建築にたずさわった。

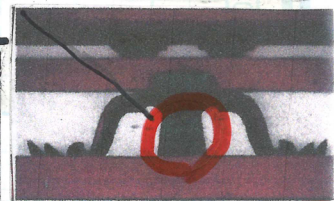


この銀行の中には、いまでは手に入らない高価な材料をたくさん使っている。

旧第五十九銀行本店本館

この建物は木造2階建て。左右均等に2階建てられ、柱等の木材は青森県産のけいぞくを使用している。この建物を造った人物は、堀江佐吉といひ、色々な洋風建築をてがけている。佐吉自身が最も力をそそげ造った最高傑作といわれており、弘前を代表する洋風建築のつ。そして、昭和47年に重要文化財に指定された。

ここに十二支がかかっているのまた

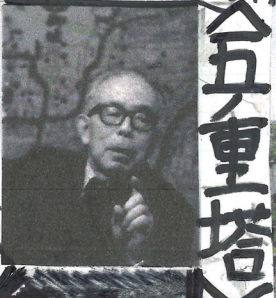


最勝院五重塔

この塔は、津軽統一の過程で戦死した敵味方の供養のために建てられたといわれている。建てられた年は1667~1668年とされていて、高さは31.2m。階のかえるのむらという所に十二支がかかっている。重要文化財に指定されたのは1908年。

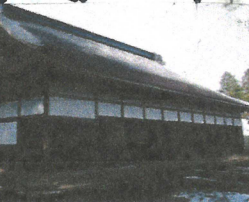


この人が前川國男を造った感想



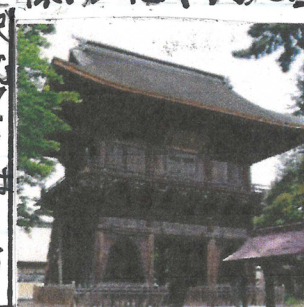
弘前市の重要文化財を知るよい機会になった。弘前市にはまだまだたくさん重要文化財があるので調べてみたい。また弘前にはどんな重要文化財があり、どれだけの大事なもののなのがをしっかりと伝えていきたい。

弘前市立西小学校  
〈本堂〉



長勝寺

1528年に南無光徳の寺として、種里(津軽)に建てられた。その後、光徳の子孫の津軽信政の時代の1611年に弘前城築城にあわせて現在地に移った。三門、本堂、庫裏などが重要文化財に指定されており、長勝寺は全部で9棟の重要文化財がある。また、2・3・6代殿様と初代2代のお墓もある。



〈長勝寺 三門〉

日本で最初のモダニズム建築

